



東根チームが悲願の初優勝 白鷹町誕生 68 周年記念地区対抗駅伝競走大会

町誕生 68 周年記念地区対抗駅伝競走大会は 10 月 9 日、スポーツ公園を中心とした周回コース 10 区間を結ぶ総距離 18.8 キロの新コースで、4 年ぶりに開催されました。

レースは序盤、各地区選手の力走で順位が目まぐるしく変わる展開。そんな中、5 区で東根チームの船山大輝選手が区間賞の圧巻の走りでチームを 1 位に押し上げると、各選手が盤石の走りを見せ、その後は一度もトップを譲ることなくゴールへ勢いよく飛び込み、優勝のゴールテープを切りました。東根チームの優勝は地区対抗駅伝が始まって以来初めてのことで、選手、関係者、そして東根地区にとっても大変喜ばしい結果に、歓喜の瞬間となりました。

4 年ぶりの開催となった地区対抗駅伝でしたが、それぞれの地区が 1 本の櫓に思いをこめ、各選手の素晴らしい走りで、盛り上がりを見せた大会となりました。各地区の誇りをかけた戦いは、来年へと引き継がれます。

●大会結果

順位	地区	タイム
1位	東根	1時間 10 分 03 秒
2位	荒砥	1時間 10 分 58 秒
3位	十王	1時間 11 分 20 秒
4位	蚕桑	1時間 12 分 08 秒
5位	鮎貝	1時間 12 分 57 秒
6位	鷹山	1時間 18 分 41 秒



●各区分 区間賞一覧

区分	距離 (キロ)	走者 (チーム)	タイム
1	1.4	竹田 圭吾 (荒砥)	5分21秒
2	1.6	竹田実乃里 (荒砥)	6分17秒
3	1.7	金子 凜音 (蚕桑)	5分59秒
		中村 璃楽 (鮎貝)	
4	2.6	渡部 功将 (蚕桑)	8分49秒
5	2.1	船山 大輝 (東根)	7分02秒
6	2.2	佐藤 聖悟 (鮎貝)	7分45秒
7	0.8	鈴木 心陽 (東根)	2分34秒
8	1.7	中川 大嗣 (蚕桑)	5分48秒
9	2.6	山口 広起 (荒砥)	9分57秒
10	2.1	鈴木 亮太 (十王)	6分40秒



地域林業復興に向けた架け橋として 記念植樹を実施

10 月 22 日に、町営スキー場にて「デロイト トーマツグループ Ethics (エシクス) の森 記念植樹」を開催いたしました。当日は町内外より約 40 名の方が参加し、鷹山地区コミュニティセンター建設のため伐採した町営スキー場付近の林地に約 700 本のスギ苗を植樹いたしました。

町ではこれまで、緑の循環システム構築を実践し、森林・林業・木材産業の活性化を図ってきました。今回はその取り組みに共感されたデロイト トーマツ グループ (ボード議長 永山晴子) 様より植林のお話を頂戴し、おきたま林業株式会社 (那須正代表取締役) 様の協力のもと本植樹が実現したものです。



記念植樹看板を前に参加者で記念撮影
植樹に使用した最新の苗植え機械 (右上)

芸で人々を魅了
第52回白鷹町芸術祭が開催

10月28日から30日の3日間、白鷹町文化交流センターあゆむで第52回白鷹町芸術祭が開催されました。今年も感染症対策を徹底した形で、各ステージ発表が行われました。

音楽・公演部門では、荒砥高等学校吹奏楽部による見事な演奏、小学生によるよさこいソーラン、さらには白鷹町少年少女合唱団の美しいハーモニーが会場を包み込みました。また、白鷹高等専修学校の生徒によるファッションショーが今年も開催され、素晴らしいステージパフォーマンスで日々の成果を発揮し、観るものを惹きつけました。



荒砥小学校



白鷹町少年少女合唱団



荒砥高校吹奏楽部



展示

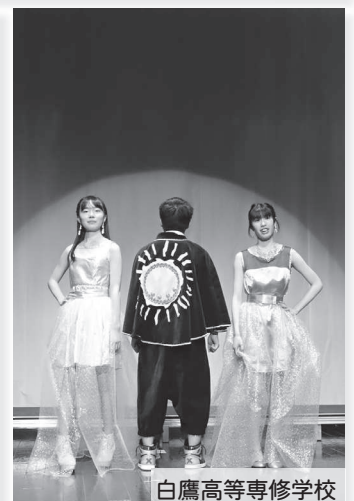


展示

茶席



鮎貝小学校



白鷹高等専修学校

自分らしさを大切に
東根小学校人権教室を開催



10月6日、白鷹町人権擁護委員による人権教室が東根小学校で開催されました。

あいさつでは、鈴木和夫委員から「誰もがみんな幸せになるために生まれてきました。自分自身も、お友達もみんな幸せになる権利があります。」とあいさつ。

人権教室では、紙芝居『白い魚とサメの子』が朗読され、「仲間とは…仲間と同じになることではなく、ありのままの自分を認めてもらうこと。自分らしさを大切にしてほしい。」という内容に児童たちは自分と照らし合わせながら聞き入っていました。今回の人権教室は、改めて自分らしさ、命の尊さや大切さを考える機会となりました。



自分を見つめ直す機会になりました